

岐阜県教育委員会 様

岐阜県立池田高等学校  
校長 西谷 徹

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立池田高等学校学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催方法 書面開催
- 3 参加者 委員  
小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長  
西尾 真奈巳 神戸町地域代表  
西川 昭 元池田高等学校育友会役員  
西川 菊雄 池田町上田区長  
安田 正博 元池田高等学校育友会役員、垂井町青少年県指導員  
國枝 磨須美 池田町教育長  
宇野 秀宣 神戸町教育長  
仲井 智一 池田町立池田中学校長  
伊藤 敦 神戸町立神戸中学校長  
飯沼 誠二 育友会会長  
学校側 西谷 徹 校長  
楠井 徳之 教頭  
小野 信幸 事務長

4 会議の概要 (委員のご意見)

観点1: 令和2年度岐阜県立池田高等学校教育指導の重点及び学校経営計画 (高等学校版マニフェスト) について

<委員からのご意見>

- ・ 池田高校は地域の子供たちが憧れと誇りをもって学ぶ学校です。より、高度な学びや世界につながる発信力を持って将来地域社会で活躍できる豊かな人間性を育成されることを望みます。加えて、ユネスコスクールの推進校として、ハリヨ池の生息調査、ジュニアリーダーズやボランティア活動、町行政への関わりなど地域とともに、また、地域から信頼される学校としてますます活躍してほしい。
- ・ 生徒の安全面を考慮して、日暮れの早い時期においては、部活動を短縮し下校時間を早くしていただいたほうがよいと考えます。なお、地域では、自転車通学者の安全を図るため、排水路における口蓋や安全防護柵の設置予算を要求し、工事施工の予定です。
- ・ 教員の負担増は生徒のためにならないので、学校経営計画の検討は今後も慎重に行ってほしい。
- ・ 地域の生徒数は減少を続けており、本年度は池田高校の1クラスの人数が40人から35人となったが、今後の展望はどうか。

観点2: 学校経営の観点で、池田高校は学校として今後こういった点を重視するとよいかについて

<委員からのご意見>

- ・ 生徒自身が心の成長を望めるようなボランティア等、社会とのかかわりを学ぶ機会を作ってほし

- い。町内、県内、国内のみならず海外でも通用する人間力形成をお願いしたい。
- ・ 進路実現に対する多様なニーズがある中、国公立大学合格者数が少しずつ増加していくことで、池田高校への入学希望者が増えていくことになると思います。
  - ・ 日本も世界も今、コロナ危機に端を発した激しい社会変動の波にさらされています。これまで通用していた思考方法や行動様式が通用しなくなってきました。これに対応する力を欠いた組織や個人は、この難局を乗り越えることができず自滅の道を迎えることになるかもしれません。こうした状況だからこそ、生徒の皆さんには、知識だけではなく、自分の頭で考える力、状況を見極めながら判断する力、それに基づいて行動する力、そして他者を認め協力し合う力を身に付けてほしいと思います。
  - ・ グローバル化に向け、生徒の視野を広げる課外授業を仕組みるとよい。
  - ・ 学校が時と状況に応じて、生徒の目線に合わせてたり、第三者の視点を持てたりするとよいと考えます。
  - ・ 評価の指標においては、数値化することでより具体的な検証が行えると考えます。

観点3: 今後も池田高校が地域と連携し活力ある取り組みを行うにあたりどういったことに留意すべきか、またどういったことに取り組むとよいかについて

#### <委員からのご意見>

- ・ 池田町には、高校と中学校が1つずつであり、学校職員や生徒間のさらなる交流が進められることを希望しています。特に、出前授業や部活動を通して池田高校の理解が一層深まることを願っています。
- ・ 地域と連携した活動が多くあり、改めて池田高生の活躍に感謝します。地域の方々と触れ合う体験を通して感じたことを、将来の地域の発展に生かしてほしいと思います。地域住民も池田高生を励まし、感謝する場を持たなければと思います。また、ニュージーランド研修での池田高生の英会話能力はかなり高いレベルだと感じました。英会話に限らず、資格の取得などで自信をもって将来に活かせるような教育を望みます。
- ・ 神戸町でのボランティア活動は、中高が共同で行うとさらに地域の活性化ができるのではないかと考えます。また、「池田高校は、神戸町の学校でもある。」と考え、神戸町との連携を重視してほしいと考えます。
- ・ ボランティア活動等を通して、生徒たちの自己有用感が高まってくると感じます。自分に何ができるのか考えるだけでなく、記録を取っていくことも大切であると考えます。また、その記録もお互いに交流できるとよいと思います。
- ・ 生徒が自ら発表する経験させることで自信をつける場を作してほしい。
- ・ コロナ危機によって、地域の医療と介護が社会のインフラとして極めて重要な役割を担っていることが明らかになりました。地域のニーズとして、学校現場にこうした分野における質の高い人材の育成と供給を求めています。池田町には幸いにして質の高いサービスを提供している介護・リハビリの施設が多数存在し、さらに医療・福祉系専門学校もあります。こうした事業者と学校との連携をさらに強化する必要があると考えます。それによって、今後どのような感染症の波がこの地域を襲っても迅速かつ適切に対応できるプロ集団の形成が可能となると思われれます。これこそが池田町の強みであり池田高校の強みであると考えます。
- ・ 多くの生徒が参加しやすい活動をお願いしたい。

## 5 会議のまとめ

学校運営協議会は、学校運営の改善に資する意見や助言を幅広く聞く場とすることが趣旨ですが、コロナ禍ということで第1回は書面開催となりました。今回は「教育指導の重点及び学校経営計画について」、「学校経営の観点で今後どういった点を重視するとよいかについて」、「地域と連携し活力ある取り組みを行うことについて」の3点についてご意見を伺いました。書面開催ではありますが、委員の方々から学校運営の方針を承認していただき、さらに、学校運営に必要な指針を得る意見をいただけたと考えます。